

発明の名称	水耕栽培方法、葉菜類、培養液、及び培養液濃縮組成物 ～亜鉛高含有量葉菜の栽培方法～
発明の概要	<p>栽培環境を変化させることで生育障害を出すことなく、6.6～72.0倍の亜鉛が含有された葉菜類を栽培することが出来る。</p> <p>交雑育種や遺伝子組換えなどの大がかりな変化ではなく、栽培環境を変化させるだけなので、コスト面や環境面からも有益であり、現在の栽培環境をそのまま利用することができる。</p>
対象業種	植物工場、食品関連企業
実用化が見込まれる分野	農業、食品関連
出願番号	特願2015-189881
出願日	2015年9月28日
公開番号	特開2017-063632
発明者	小川 敦史、工藤 育美
出願人	秋田県立大学



お問い合わせはこちらまでどうぞ地域連携・研究推進センター

秋田市下新城野字街道端西241-485 TEL:018-872-1557 FAX:018-872-1673

